



第28回
大府公民館
芸能祭

平成22年2月14日(日)

大府保育園児のコーラスで幕を開け、桃山保育園児の手話を交えたコーラス、詩吟、日本舞踊、民踊、詩舞、カラオケ、ハーモニカ、大正琴、三味線、尺八等々、全四十二組が日頃の練習成果を披露されました。そしてフィナーレは、全員による「大府ばやし」の総おどりで幕が閉じられました。

ふれあい

大府コミュニティだより

編集発行

大府コミュニティ
推進協議会
総務広報
事務局

大府公民館
TEL48-1007



助けあう

家庭と地域を

創造しよう



7月31日(土)、8月1日(日)

第29回大府夏まつり

平成22年度

大府コミュニティ
総会開催

- とき
4月18日(日) 19時より
- ところ
大府公民館 大会議室

文化福祉部会

「ルミナス」訪問

11月13日(金)、大府コミュニティの文化福祉部会を中心に構成した20名が、介護老人保健施設「ルミナス大府」の慰問を行いました。午後のひと時、前半は詩舞・舞踊やカラオケなど個人の持ち芸を披露。各自衣装もあでやかに練習の成果を発表しました。後半は全員で歌ったり踊ったりして会場を賑やかに沸かせました。「ルミナス大府」4階の食堂に約60名の施設利用者さんや職員さんが集い、共に楽しんで、皆さんいきいきとした表情をしていました。

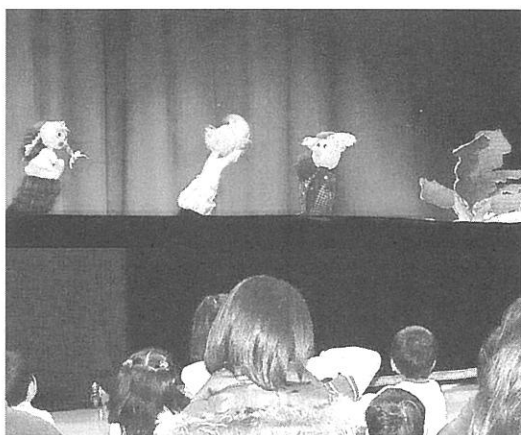
この慰問は、かつて「かたらい部会」と呼ばれていた頃から毎年継続して行われている文化福祉部会の事業です。コミュニティ委員に選ばれた仲間が、部会の中でアイデアを出し合って今年の出し物を考案、練習を重ねて「慰問」の場で発表となりました。

感謝状

大府コミュニティ文化福祉部が、長年にわたる介護老人施設でのボランティア活動を評価され、「愛厚ホーム大府苑」と「ルミナス大府」の二施設から感謝状を授与されました。

人形劇団「あおぞら」公演

1月19日文化福祉部主催で中京女子大学「人形劇団あおぞら」の公演があり、多くの子供達が楽しみました。



家庭教育部会

マジック体験学習

11月28日、午後1時30分より「大府コミュニティ家庭教育部会」主催で「マジック体験学習・楽しいマジックを学びましょう」と題して、マジック(手品)の講習会が大府公民館で開催された。受講生は大府小学校の4年生・6年生が44名、その父兄、その他一般の方々等、多くの参加者で賑わった。講師は「大府マジッククラブ」のメンバー10名。オープニングは、華麗な音楽にのせてのオジサマ、オバサマのマジックショーが続いた。次いで演技指導に移ったが、カード(トランプ)の演技が始まって間もなく最前列の児童が「僕、それ知ってる」の声に会場は大爆笑。演技指導は「カード」の他「輪ゴムの指から指への移動」「カラーリングブックでの演技」の三種類があった。行程ごとにクラブ員の先生方が個別

指導をされ、児童達は理解を深めたようであった。演技指導の途中で、講師の「分らない方」という問いに「ハーイ」と手を上げたのは私を含め、ジジ・ババのみであった。

終了時には演技に使用したカード、カラーリングブック、輪ゴムの三種類をプレゼントされた。家に帰り、親兄弟、子供達に習得した技を得意げに披露している事であろう。今回の受講生の中から未来の「引田天功」「プリンス天功」が生まれるか? マジッククラブ会員募集中。興味のある方は大府公民館へ遊びに来て下さい。毎月第2、第4土曜日の午後1時から5時まで練習しています。



ます。今年の出し物は「高原列車に乗って山へ紅葉狩りに出かけよう！」と設定しました。特に、「高原列車は行く」の曲に合わせて部会員が製作した、ピンク色の列車や野山の背景の絵は皆さんの目を惹きました。参加した大府コミュニティのメンバーは40歳代、70歳代。対してルミナス大府の参加者さんは60歳代、80歳代。地域の発展を担った諸先輩方に感謝と敬意の気持ちを持ちながら交流を行いました。



大府地区民生児童委員

ひとり暮らし高齢者の交流会

昨年10月30日、大府公民館において、大府地区ひとり暮らし高齢者の交流会を開催しました。参加者は60名余りでした。



昼食をとりながら、舞踊、歌、手品、ビンゴゲーム、また懐かしい唱歌の合唱などの余興で、楽しいひと時を過ごしていただきました。参加者の記念写真を撮り、来年も元気で再会することを約束し、交流会を終えました。

高齢化、核家族化がすすみ、現在、大府地区のひとり暮らしの高齢者は昨年より10名増え、234名いらっしゃいます。これは年々増加の傾向です。高齢者の孤独死という悲しい事件もあります。ひとり暮らし高齢者のみならず、皆さんの交流を深める場として、来年はもっと多くの参加を期待します。また、ご協力いただいた多くの団体・個人に感謝いたします。(Y・T)

健康部会

グラウンドゴルフ大会

12月5日午前9時より「大府コミュニティ健康部会」主催の「グラウンドゴルフ大会」が横根グラウンドで開催された。当日はあいにくの雨模様で開催が危ぶまれたが、プレイ中は時々太陽と霧雨が同居する程度であった。参加者は約70名の大盛況で、1チーム4名(一部5名)編成の15チームで熱戦の火ぶたがきられた。横根グラウンドは野球場のた



めピッチャーズマウンドがあり、主催者の意地悪がこの頂点にホールが設定してあり、最大の難コース。打っても打っても逆戻りか、反対側へコロコロ。最後は諦める人もでる始末。それでもホールインワンを決めた幸運な人もいた。この人は密かに「年末ジャンボ宝くじ」を買い、3億円をゲットしているかも……。見るからにこの人はプロか?と思われるスタイルの人、歩くのも危なっかしい人、それでも怪我人も無く最後まで楽しく親睦を深めることが出来た。「ホールインワン」の人が13名いて、これには驚きであった。最後の表彰式では、全員が賞品をもらって閉会した。解散直後に、終了するのを待っていてくれたかのように激しい雨と強い風。そんな中、役員さんはアトカタツケ。

あの人この人

大府中学校長 細谷正明先生

今回は、今年度より新しく大府中学校の校長に赴任された細谷正明先生にお話をうかがいました。

プロフィール



昭和28年生まれ・56歳・巳年・おうし座・血液B型。教科は社会科。大府小・大府中の卒業生であり、今も校区に住み、大府コミの一人としてお世話になっています。

「大府中学校の印象」

卒業生の活躍ぶり、地域の方々の学校に寄せる思い、校地に根を下ろす大樹、それらの全てから「伝統」の重さを強く感じます。そして、長い伝統に育まれた「校風」のすばらしさにも感動しています。こんなすばらしい学校に勤務できる幸せを四月からずっと感じています。

「大府中学校の生徒」

家庭の適切な愛情に育まれ、素直に伸び伸びと育っている子どもが多いという印象をもちます。成長するためには素直であることがとても大切ですが、その条件を大中学生は備えているといえます。落ち着いた雰囲気です。学校生活が営めていますし、学校行事における爆発的なエネルギー

は周りを圧倒します。

「ボランティア活動について」

本来のボランティア活動の意味に加えて、私は「相手の立場になって考える」ことを学べる貴重な機会だと考えています。夏まわりのボランティア活動に参加する本校生徒を見て感じたのですが、「ストラックアウト」のブースを任された生徒は、なかなか指示に従ってくれない小学生に四苦八苦していました。一方、場内美化活動に参加した生徒は、拾っても拾っても一向に減らないごみにうんざり顔です。でも、ここで彼らは何かに気づいたはずで、今まで言うことを聞いてくれない小学生の立場であったかもしれない自分や、ごみを平気で捨てていたかもしれない自分に。全ての人の立場を理解することとは不可能でも、こうした体験を通して一つ一つの立場を理解することは貴重だと思っています。バーチャル体験で何事もなかった気になってしまふことの多い昨今の風潮を見ていて、余計にこのことを強く感じています。

「大人としての役割」

月並みですが「大人は子どもの手本でなければなりません。子どもは大人の背中を見て育つ」です。愛知県教育委員会も、「まずは大人からルールやマナーを守りましょう」というキャンペーンを展開していますが、このことを強く意識したいと思います。具体的な例を一つだけあげるとしたら、スニーカーやショッピングセンターの障害者用駐車スペースに健常者が平気で車を止めている光景をとても不愉快に感じます。ルール違反・マナー違反が横行

している中で、子どもにルールを守ろうと呼びかけても説得力はありません。

「地域に求めること」

大府中学校は、実に多くの地域の方々にお支えいただいています。選択授業の講師として昨年度まではたくさんの地域講師の皆さんにご指導いただきましたが、本年度は選択授業時間数の削減に伴い、その機会はなくなりました。それでも、玄関に花を生けに来てくださる方、大中小助け隊として環境整備や図書整理にお越しいただく方、部活動の外部指導者として専門的な指導をしてくださる方、名も名乗られず「散歩のついでだから」とそと運動場の草を抜いてくださる方、「運動がてらに」とおっしゃりながらさりげなく校地の安全点検をしてくださる方……。実に多くの保護者や地域の方々に愛され支えられているのだというのを改めて実感しています。教職員・生徒とも深く感謝しています。今後もこれまで同様、温かく見守り、お支えいただくとともに学校へ気軽に足を運んでいただきたく思います。そのためには、学校は「風通しのいい」「敷居の低い」存在でありたいと思っています。

とても明るく、気さくに対応していただき、楽しくお話をうかがうことができました。「開かれた学校」にしたいと語られた笑顔が印象的でした。

大府市防犯情報 (1月分)

駅周辺でひったくり多発

被害日時	被害場所	被害品	備考
平成22年1月15日(金) 20:30	大府市若草町3丁目 路上	カバン、現金	被害者: 徒歩
平成22年1月19日(火) 21:14	大府市共和町3丁目 路上	カバン、現金	被害者: 徒歩
平成22年1月21日(水) 21:45	大府市中央町2丁目 路上	カバン、現金	被害者: 自転車 前カゴ内
平成22年1月21日(水) 21:50	大府市長根町5丁目 路上	カバン、現金	被害者: 自転車 前カゴ内
平成22年1月30日(土) 20:12	大府市中央町4丁目 路上	バッグ、現金	被害者: 徒歩

カーナビ盗被害多発! 注意しましょう!

あとがき

政変あり、不況ありのこの厳しい今年も成人の日がやって来た。希望に満ちた若いエネルギーで、21世紀をしっかりと足踏みしめて船出されんことを祈る。人生一度のこの日を、着飾り、騒ぐのも良い思い出となることだろう。かく言う私は、当時大学浪人中で、模擬試験のために、友人に記念品を頼んだことを思い出す。テレビニュースで一部いろいろな行動をした人もいたと報じられたが、後日思い出たこととであろう。成人の意味を良く考えてこの先がんばってほしいと願うばかりである。

(K・H)